

## はじめに

「木育」は、平成16年度「協働型政策検討システム推進事業」（知事政策部所管）において、道民の皆さんとの協働によるプロジェクトチームにより検討され、北海道発の新しい言葉として、積極的な推進に努めている取組です。

「木育」は、子どもをはじめとするすべての人が、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取組であり、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。

北海道では、「木育」を生活に根ざした息の長い道民運動として展開・定着していくため、「木育」の推進・普及に向けた取組を行っています。

この事例集は、「より多くの方に「木育」を認識してもらいたい。」また、「市民活動グループや保育園・幼稚園・小学校などが「木育」に取り組む場合の具体的な事例として参考としていただきたい。」との思いから作成し、道内各地域で取り組まれている「木育」の取組事例を紹介しています。

「木育」の取組が、今後、全道に広がり、より多くの方が「木育」に共感し、「木育」を実践していくことを願い、本書をぜひ活用いただきますようお願いします。

平成20年3月

北海道水産林務部林務局林業木材課

